明石工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	建築設計演習Ⅳ B

科目基礎情報

科目番号	0084	科目区分	専門 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	学修単位: 4
開設学科	建築学科	対象学年	4
開設期	後期	週時間数	4
教科書/教材	演習課題の内容に応じて適切な資料を印刷し配布する。		
担当教員	神家 昭雄,本塚 智貴		

到達目標

1)庁舎建築の設計で、多様な人々の動線、様々な機能空間のゾーニング等々を合理的にまとめ上げ、建築空間として構成することができる。
2)集合住宅の設計で、プライベート・セミプライベート・セミパブリック・パブリックという段階的空間構成をもち、住民同士が自然と互いに顔見知りとなり、住民が地域に帰属意識をもつことができる集合住宅を設計できる。
3)敷地と周辺地域および景観などに配慮し、配置、意匠を検討できる。
4)講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。
5)ソフトウェアを用い、各種建築図面を作成できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	複雑な機能をもつ庁舎建築を的確に設計できる。	複雑な機能をもつ庁舎建築を設計できる。	複雑な機能をもつ庁舎建築を設計できない。
評価項目2	段階的空間構成をもった集合住宅を的確に設計できる。	段階的空間構成をもった集合住宅を設計できる。	段階的空間構成をもった集合住宅を設計できない。
評価項目3	周辺地域、景観などに的確に配慮した設計ができる。	周辺地域、景観などに配慮した設計ができる。	周辺地域、景観などに配慮した設計ができない。
評価項目4	的確にプレゼンテーションができる。	プレゼンテーションができる。	適切なプレゼンテーションができない。
評価項目5	ソフトウェアを的確にもちい図面作成ができる。	ソフトウェアをもちい図面作成ができる。	ソフトウェアをもちい図面作成ができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (D) 学習・教育到達度目標 (E) 学習・教育到達度目標 (F)

教育方法等

概要	建築設計演習IVBは、計画、環境、構造分野の専門科目で得られた成果を総合化し、まとめあげる基礎的能力を育成することを目標としている。建築設計に関して学んできた基礎的事項を活かし、機能的に複雑な建築物の空間設計演習を実施する。課題対象となる建築や空間の社会的位置づけや発展過程等を学び、各学生が望ましいと考える設計の方向性を絞り込んでいく学習のプロセスを多様な情報により支援する。
授業の進め方・方法	設計の各段階で、どのように考えればより優れた建築になるかを具体的に示し指導する。
注意点	日常から建築分野に関わる多様な情報に対する関心を高め、建築物の現地見学を自主的に実践すること。設計に当たってはスタディ模型などを使って空間を立体的に捉えていくこと。自分がその中を歩き回り、住み込んでいること等をイメージし、その空間を体感しつつ設計すること。 合格の対象としない欠席条件(割合)　1/3以上の欠課

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	第1課題「庁舎の設計」その1	課題説明。草案(エスキス)作業に着手し、計画設計に必要な情報を収集する。
		2週	第1課題「庁舎の設計」その2	草案の完成度を高めながら、指導教員との意見交換を活発に行う。エスキスを完成し提出する。
		3週	第1課題「庁舎の設計」その3	エスキスの講評会を開催し、草案の手直しを行う。 CADによる設計作業を開始する。
		4週	第1課題「庁舎の設計」その4	CADによる設計作業II　敷地内での配置、建築の構成をまとめる。
		5週	第1課題「庁舎の設計」その5	CADによる設計作業III　配置図、平面図、断面図、立面図等をまとめ、各図面間の整合性を確認する。
		6週	第1課題「庁舎の設計」その6	CADによる設計作業IV　設計図全体の完成度を高め、完成し提出する。
		7週	第1課題「庁舎の設計」その7	講評会を開催し各学生が作品内容を説明する。修正が指摘された部分について手直しを行う。
		8週	第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その1 まちづくりおよび集合住宅に関する講義	敷地環境と建築法規制に関して情報収集を行う。草案(エスキス)作業に着手し、計画設計に必要な情報を収集する。
	4thQ	9週	第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その2	建築のおよその規模を定め、日影規制の点検を行う。 草案の完成度を高めながら、指導教員との意見交換を活発に行う。エスキスを完成し提出する。
		10週	第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その3	エスキスの講評会を開催し、草案の手直しを行う。 CADによる設計作業を開始する。
		11週	第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その4	CADによる設計作業II　敷地内での配置、建築の構成をまとめる。
		12週	第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その5	CADによる設計作業III　空間構成を明らかにした平面図、断面図等をまとめる。
		13週	第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その6	CADよる設計作業IV　配置図、平面図、断面図、立面図等をまとめ、各図面間の整合性を確認する。 外観や景観設計を行う。CGによる図の採用で表現を充実する。
		14週	第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その7	CADによる設計作業V　設計図全体の完成度を高め、完成し提出する。

		15週	第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その8	講評会を開催し各学生が作品内容を説明する。修正が指摘された部分について手直しを行う。
		16週	期末試験実施せず	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	製図用具の特性を理解し、使用できる。	4	
				線の描き分け(3種類程度)ができる。	4	
				文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	4	
				建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	4	
				図面の種類別の各種図の配置を理解している。	4	
				図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	4	
				立体的な発想とその表現(例えば、正投象、単面投象、透視投象などを用い)ができる。	4	
				ソフトウェアを用い、各種建築図面を作成できる。	4	
				各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	4	
				与えられた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。	4	
				与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスができる。	4	
				与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などがかける。	4	
				設計した建築物の模型またはパースなどを製作できる。	4	
				講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	4	
				敷地と周辺地域および景観などに配慮し、配置、意匠を検討できる。	4	
				建築の構成要素(形と空間の構成)について説明できる。	4	
				建築における形態(ものの形)について説明できる。	3	

評価割合

	設計作品	エスキス	発表	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	10	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	20	10	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0